

年報 2007

市立八幡浜総合病院



## 目次

目次	2
巻頭言	3
内科	
糖尿病内科	4
循環器内科	8
呼吸器内科	9
小児科	10
外科	12
整形外科	14
脳神経外科	17
皮膚科	18
泌尿器科	19
産婦人科	21
眼科	22
耳鼻咽喉科	23
放射線科	24
麻酔科	26
歯科口腔外科	28
リハビリテーション科	30
臨床病理科	32
放射線室	34
薬局	35
栄養療法科	36
看護科	39
医療情報管理室	44
医事係	48
病院の行事等	51

## 巻頭言

このたび市立八幡浜総合病院の年報第2号を発刊し皆様にお届けいたします。

この年報では、各診療科の診療内容、スタッフの紹介とともに昨年の診療実績、治療成績、学会活動などをまとめております。これらの業務実績をご覧いただければ、当院全体の活動状態がご理解いただけるものと思われます。当院の年報は、毎年発刊することにより病院の歴史資料となるものであります。その内容の中に、病院の進歩発展のさまをうかがう事ができれば幸せであります。

医療は多くの職種の連携でなりたつものであるが、最近では専門細分化する傾向にあり、ともすれば、その中に埋没しそうになるものであります。日常診療では、たとえば高度に専門化された診療科が求められる一方、総合診療科的な幅広い知識、技術、経験を求められるわけがあります。当院のような地域密着型の自治体病院ではどちらも必要とされる場合があります。

年報を御覧いただければ、八西地域における当院の役割が御理解されるであろうし、これから当院が進んでいくべき近未来像がみえてくるものであらうと思われます。

現在、当院を含む自治体病院をとりまく医療環境は益々厳しくなり、特に医師不足による病院の機能が充分にはたせない事もあり、医療（病院）崩壊につながる危険性すらあります。

その中で、当院のスタッフは、各自に要求される仕事量が過剰になりながらも日夜、市民のニーズに充分応えていると考えます。その活躍に力強ささえ感じます。

年報を読むことにより、当院を鳥瞰図的にみて各部所の仕事内容を有機的に把握することができるのではないかと考えます。現在の当院が早急に解決していかねばならない問題として、医師不足の問題、救急医療の問題、病院経営の問題、病院建て替えなど、いろいろな問題が山積みしてあります。これら諸問題を一つ一つ解決していく事により、明日の当院の果たしていかねばならない役割と病院の存在意義が再認識されるものと考えます。

この年報が市立八幡浜総合病院をご理解いただくものとしてお役に立つ事を願って巻頭言といたします。

市立八幡浜総合病院 院長 久保敬

# 糖尿病内科

## 1 紹介

### (1) 概要

昭和 39 年に当時院長の吉田良一先生が全国に先駆けて糖尿病教室を開設されて以来 44 年という歴史のある糖尿病診療をおこなっています。

糖尿病教育指導は入院よりも外来に、集団よりも個別指導に重点をおいています。また、H19 年度より糖尿病患者の病診連携を開始し、地域医療における当院の役割の再構築を図っています。

### (2) 診療実績 (平成 19 年) : 糖尿病外来でフォロー中の患者 963 名

平均年齢 67.5±12.2 歳

平均経過年数 12.3±8.8 年

性別 男 : 女 = 527 : 436

病型 1 型 : 2 型 : その他 = 3.8% : 93.4% : 2.8%

平均 HbA1c 7.8±1.4%

平均 BMI 23.7±3.9kg/m<sup>2</sup>

T. Chol 200±32mg/dL

TG 110±66mg/dL

HDLC 63±29mg/dL

PWV 1870±480cm/sec

IMT 0.70±0.10mm

API 1.12±0.11

網膜症 NDR : SDR : PDR = 59.6% : 18.4% : 22.0%

腎症 1 : 2 : 3 以上 = 60.9% : 28.3% : 10.8%

治療内容 食事療法のみ : OHA : IN = 28.3% : 43.3% : 28.4%

### (3) 診療内容 (平成 19 年)

① 糖尿病外来 : 患者数約 1,000 人

② 糖尿病教育・コントロール入院

③ 糖尿病教育指導

外来教育 : 糖尿病経過で 3 コース設定

たまご (初期教育) コース

月 1 回 × 4 回

ひよこコース

2 ヶ月に 1 回 × 4 回

にわとりコース

2 ヶ月に 1 回 × 4 回

別腹（特別）コース

2ヶ月に1回

教育入院：1週コース、2週コース（通常コース）

④ 糖尿病患者会（みどり会）

⑤ 地域活動

糖尿病週間行事（11月：メタボリック症候群の健康相談）

八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会（年3回）

⑥ 糖尿病カンファレンス：毎週水曜日 17:30～

⑦ 八幡浜DM連携 Circle（年4回）

(4) スタッフ

① 指導医

酒井武則（糖尿病学会指導医・専門医、内分泌学会特例指導医、愛媛大学医学部教育協力者、日本病態栄養学会評議員・NSTコーディネーター、認定内科専門医、愛媛糖尿病協会理事）

② 愛媛糖尿病療養指導士：5人

谷本千鶴子、此上保美、駿河陽子、宮本和典、二宮三枝子

## 2 学会発表

(1) 全国学会

① 第50回日本糖尿病学会年次学術集会（2007.5.24-26、仙台）

食後CPR（血糖との比）の臨床的有用性の検討

酒井武則、宮田朋史、古川慎哉、松浦文三、恩地森一

2型糖尿病患者におけるイコサペント酸エチル（EPA）の抗酸化作用の検討

宮田朋史、酒井武則、古川慎哉、松浦文三、恩地森一、中西公王、谷口嘉康、岡清仁、宮内省蔵、宮岡弘明

(2) 地方会

① 日本糖尿病学会中国四国地方会第45回総会（2007.10.19-20、松山市）

診断が遅れたミトコンドリアDNA異常による糖尿病の1例

吉野 到、酒井武則、谷口嘉康

食後高血糖で発見された1型糖尿病の1例

酒井武則、松浦文三、古川慎哉、恩地森一

外来での初期糖尿病教室における教育効果の検討-PAIDを使用して-

川野理津子、此上保美、石橋一美、谷本千鶴子、松本真知子、駿河陽子、酒井武則

② 第 97 回日本内科学会四国地方会 (2007. 12. 2 高松市)

興味深い経過をたどった高齢発症多腺性自己免疫症候群 3 A 型の 1 例

竹治 智、酒井武則、松浦文三、恩地森一

(3) 研究会

① 第 24 回愛媛内分泌代謝疾患懇話会 (2007. 7. 27 松山市)

興味ある経過を呈した高齢発症 1 型糖尿病の 1 例

竹治 智、酒井武則

② 第 27 回八幡浜・大洲・消化器・糖尿病・内分泌研究会 (2007. 9. 19 八幡浜市)

速効性インスリン分泌促進薬の適応症例について

酒井武則

③ 第 28 回八幡浜・大洲・消化器・糖尿病・内分泌研究会 (2008. 2. 20 大洲市)

糖尿病治療薬による低血糖について

酒井武則

④ 第 9 回八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会 (2007. 10. 大洲市)

働き盛りの方を対象とした栄養指導

薬師神江利

⑤ 第 10 回八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会 (2008. 2. 28 大洲市)

フットケア・足潰瘍・糖尿病性神経障害に関して

石橋一美

3 論文

大野芳敬、酒井武則、宮田朋史：クッシング症候群を呈した膵原発内分泌腫瘍の 1 例．日消誌 2007 ; 104 : 1526-1532

清水一紀、大野敬三、酒井武則、村尾 敏、宮岡弘明：四国地区における外来 2 型糖尿病患者の臨床像-多施設共同研究-．愛媛医学 2007 ; 26 : 230-235

4 座長

(1) 第 24 回愛媛内分泌代謝疾患懇話会 (2007. 7. 27 松山市)

一般演題 座長：酒井武則

(2) 第 25 回愛媛内分泌代謝疾患懇話会 (2008. 3. 8 松山市)

一般演題 座長：酒井武則

(3) 第 27 回八幡浜・大洲・消化器・糖尿病・内分泌研究会 (2007. 9. 19 八幡浜市)

一般演題 座長：酒井武則

(4) 第8回八幡浜大洲糖尿病チーム医療研修会 (2007. 6. 21 八幡浜市)

一般演題 座長：酒井武則

## 5 講演

(1) 西予市医師会学術講演会 (2007. 6. 20 西予市)

糖尿病診療の質を高める 10 のコツ 酒井武則

(2) Cardiovascular & Metabolic Science Symposium 2007 in MATSUYAMA (2007. 6. 28 松山市)

パネルディスカッション 高上悦志、近藤しおり、酒井武則、新谷哲司、古川慎哉

(3) 代理店講師招聘勉強会 (2007. 9. 10 大洲市)

糖尿病専門医の本音-数年後の糖尿病診療- 酒井武則

(4) 八幡浜地区香川医大グループ糖尿病勉強会 (2007. 9. 12 八幡浜市)

糖尿病診療のポイント 酒井武則

(5) アマリール発売7周年記念講演会 (2007. 10. 4 松山市)

八西地区における糖尿病患者の地域連携について 酒井武則

(6) 第1回八幡浜DM連携サークル (2007. 12. 14 八幡浜市)

糖尿病病診連携の現状と当地区における糖尿病病診連携マニュアルについて 酒井武則

(7) 岬地区勉強会 (2008. 2. 13 伊方町)

糖尿病・内分泌診療のポイント 酒井武則

(8) 第2回八幡浜DM連携 Circle (2008. 3. 14 八幡浜市)

食事療法のポイント 薬師神江利

Metabolic syndrome について 酒井武則

(9) 第12回愛媛SDM研究会 (2008. 3. 22 松山市)

ガイドラインの次の一手 酒井武則

(10) 第1回大洲DM連携 Circle (2008. 3. 27 大洲市)

糖尿病の病診連携の実際 酒井武則

# 循環器内科

循環器内科は、急性心筋梗塞を含めた急性冠症候群に対する緊急の血管内治療や、不整脈に対する緊急ペーシングなどに24時間体制で対応しています。心臓だけでなく、末梢動静脈に対するインターベンション、カテーテルアブレーションも施行しております。

地域の開業医との連携を強めるために年に循環器懇話会を開いており、出席してもらっています。開業医の先生方に感謝するとともに、さらに多くの医師に参加して頂けるように努力しています。

## 【 平成19年度専門的診断術及び実績 】

心エコー	2,408 例
頸部エコー	368 例
下肢エコー	126 例
マスター負荷心電図	68 例
トレッドミル負荷試験	42 例
心筋シンチ	115 例
心臓MRI	8 例
心臓カテーテル検査	178 例
うち経皮的冠動脈形成術 (PCI)	80 例
末梢動脈・静脈に対するカテーテル治療	19 例
心臓電気生理学的検査及びペースメーカ治療	
恒久式ペースメーカ植え込み	17 例
(ジェネレータ交換含む)	
不整脈に対するカテーテルアブレーション	4 例



# 呼吸器内科

診療担当 平山 猛 (日本呼吸器学会専門医)

## 1 診療方針と治療

当院呼吸器内科の基本方針は、必要最小限の検査手段を選択し、十分なインフォームド・コンセントのもとに、患者様およびご家族の意向を尊重した治療を行います。

## 2 対象疾患

気管支喘息、肺気腫、気管支拡張症、間質性肺炎、肺結核、非結核性抗酸菌症、肺炎、気胸、肺癌、縦隔腫瘍、サルコイドーシス、睡眠時無呼吸症候群など呼吸器疾患全般の診療にあたります。在宅酸素療法、在宅人工呼吸器の導入、呼吸リハビリのための入院も受け付けています。

## 3 診療状況

- (1) 気管支喘息は、治療ガイドライン（吸入ステロイド導入）に基づいた治療を行っています。その結果、発作による救急外来患者数は減少しています。
- (2) 慢性呼吸不全に対する在宅酸素療法は、現在進行中の患者様は約 100 名です。適応疾患としては COPD が最も多く、次いで肺結核後遺症、間質性肺炎、最近では肺癌症例も増えてきています。また鼻マスク陽圧呼吸の導入も徐々に増加しています。当院では、在宅酸素療法患者様を対象に、平成 14 年度より毎年バス遠足を行っており、患者様ご家族から大変好評を得ています。
- (3) 肺癌症例は、CT 検診の普及により近年増加傾向で早期肺癌症例も増えてきていますが、依然として根治の難しい疾患です。当院においても肺癌の診断・治療方針が可能ですが、治療は、胸部外科医および放射線治療設備を有する松山地区の病院（四国がんセンター、県立中央病院、国立病院機構愛媛病院、松山赤十字病院など）を紹介しています。また、外来通院での化学療法（抗癌剤治療）も行っています。
- (4) 睡眠時無呼吸症候群の診断と治療（CPAP）も可能です。

当院で対応不可能な検査、治療（対応機関への紹介可能です。）

- ①肺結核の入院治療、②放射線治療、③縦隔鏡検査、④蛍光気管支鏡、レーザー治療、⑤PET

# 小児科

	月	火	水	木	金
午 前	廣 井	米 澤	廣 井	米 澤	廣 井
午 後	米 澤	慢性疾患 BCG	乳児健診 予防接種	米 澤	廣 井

※ 毎月第1木曜日午前は小児神経外来(福田医師による)も併設

※ 毎月第4金曜日午後は小児循環器外来(檜垣医師による)も併設

## 1 スタッフ紹介

### 【常勤】

廣井 一浩 (ひろい かずひろ) : 医長

平成5年 愛媛大学医学部卒業

資 格 日本小児科学会専門医

所属学会 日本小児科学会、日本小児アレルギー学会、日本小児科医会

米澤 早知子 (よねざわ さちこ) : 医長

平成11年 愛媛大学医学部卒業

資 格 日本小児科学会専門医

所属学会 日本小児科学会、日本血液学会、日本小児血液学会

### 【非常勤】

檜垣 高史 (ひがき たかし) : 愛媛大学医学部小児科 准教授

昭和63年 愛媛大学医学部卒業

資 格 日本小児科学会専門医、日本小児循環器学会評議員

日本周産期・新生児学会指導医

福田 光成 (ふくだ みつまさ) : 愛媛大学医学部小児科 講師

平成3年 愛媛大学医学部卒業

資 格 日本小児科学会専門医、日本小児神経学会専門医

日本てんかん学会認定医・臨床専門医

## 2 小児科入院患者数

年度	人数
平成 15 年	402 人
平成 16 年	465 人
平成 17 年	561 人
平成 18 年	532 人
平成 19 年	437 人

# 外科

## 1 医師紹介

國吉 巖 : 副院長 昭和 45 年 山口大学医学部卒業

昭和 53 年 当院赴任

所属学会 : 日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本大腸肛門病学会

的場 勝弘 : 科長 平成 8 年 山口大学医学部卒業

平成 19 年 当院赴任

所属学会 : 日本消化器外科学会専門医、日本外科学会専門医、日本臨床外科学会、日本癌治療学会、日本内視鏡外科学会

蘓村 秀明 : 医長 平成 11 年 山口大学医学部卒業

平成 20 年 2 月 当院赴任

所属学会 : 日本外科学会専門医、日本消化器外科学会、日本消化器病学会、日本臨床外科学会、日本癌治療学会、日本内視鏡外科学会

新藤芳太郎 : 医員 平成 16 年 山口大学医学部卒業

平成 18 年 当院赴任

所属学会 : 日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会、日本肝胆膵外科学会、日本癌治療学会

## 2 科の特徴

当院外科は消化器外科と一般外科（乳腺、甲状腺等）を専門としており、山口大学第二外科（現：消化器・腫瘍外科）から 40 年以上途切れることなく医局員が派遣されています。

過疎化による人口減少や地理的環境等により大病院志向の患者さんも増加していますが、平成 19 年の手術症例は 414 例（うち全身麻酔 188 例）と大きな減少はありません。手術術式に関しても、適応を判断しながら腹腔鏡を用いた低侵襲手術などに取り組んでいます。

近年、医師の都市集中により消化器内科医も減少していますが、当科においては内視鏡検査（胃内視鏡・大腸内視鏡など）にも積極的に取り組み、診断から治療まで一貫して行っています。術後抗癌剤治療に関しては胃癌、大腸癌治療ガイドライン等を参考にしながら、大学病院または都会の市中病院と同等な治療ができるよう心がけています。

日本外科学会、日本消化器外科学会、日本臨床外科学会等に所属し、活発な学会発表を行いながら、日進月歩の知識・技術の習得に努め、患者さん第一と考え、4 人一丸となって地域医

療に邁進しています。

### 3 平成 18 年の主な手術

胃癌：	19 例	乳癌：	3 例
結腸癌：	17 例	胆石胆嚢炎：	25 例
直腸癌：	10 例	総胆管結石：	22 例
胆管癌：	1 例	虫垂炎：	21 例
ヘルニア：	61 例	腸閉塞の手術：	16 例
その他の全身麻酔：約 80 例			

その他に肛門外来にも力を入れており、平成 19 年の手術症例 414 例のうち、いわゆる痔の手術は 73 例行っています。

### 4 学会発表

- (1) 胆嚢摘出術・総胆管切石術後にタコツボ型心筋障害を合併した 1 例  
鈴木伸明, 新藤芳太郎, 内迫博幸, 国吉巖  
日本消化器外科学会総会(2007.07)
- (2) 魚骨による肛門周囲膿瘍の上行進展により汎発性腹膜炎を発症した 1 例  
新藤芳太郎, 的場勝弘, 鈴木伸明, 国吉巖  
日本臨床外科学会総会 (2007.11)

### 5 学会論文

- (1) 救命しえた上腸間膜静脈・門脈血栓症の 1 例  
新藤芳太郎, 鈴木伸明, 國吉巖  
愛媛医学 26 卷 3 号 Page244-246(2007.09)

# 整形外科

院長：久保 敬（くぼ たかし）

出身大学：広島大学（昭和 46 年卒）

資格：日本整形外科学会専門医、医学博士

専門分野：手の外科、整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、日本手の外科学会、中部日本整形災害外科学会評議員 他

科 長：堀田 恵司（ほりた けいじ）

出身大学：広島大学（昭和 56 年卒）

資格：日本整形外科学会専門医、医学博士

専門分野：膝関節外科、整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、日本膝関節学会、中部日本整形災害外科学会評議員 他

医 長：坂上 秀樹（さかうえ ひでき）

出身大学：関西医科大学（平成 11 年卒）

資格：日本整形外科学会専門医

専門分野：整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、中部日本整形災害外科学会 他

医 長：温泉川 一喜（ゆのかわ かずき）

出身大学：愛媛大学（平成 13 年卒）

資格：日本整形外科学会専門医

専門分野：整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、中部日本整形災害外科学会 他

医 員：兒玉 祥（こだま あきら）

出身大学：広島大学（平成 15 年卒）

専門分野：整形外科一般

所属学会：日本整形外科学会、中部日本整形災害外科学会 他

現在、5 人の整形外科医で外来・病棟診療、手術を行っています。外傷による四肢骨折、変形性関節症や骨粗鬆症といった慢性疾患などの運動器疾患全般を診療しています。八幡浜という地域性から、高齢者の大腿骨近位部骨折や脊椎圧迫骨折の症例が多い一方で、乳児の先天性股関節脱臼検診や若年者スポーツ障害の治療にも精力的に取り組んでいます。疾患部位としては、手の

外科・膝関節外科を中心に診療しています。日本整形外科学会、中部日本整形災害外科学会等に所属し、積極的に学会発表を行いながら知識・技術の向上に努め、地域に根ざした医療を今後も行ってまいります。

## 1 手術件数（平成 19 年度）

総数）282 件

内訳）手の外科・外傷：88 件

膝関節鏡視下手術（靭帯再建、半月板縫合など）：10 件

人工膝関節置換術：7 件

人口股関節置換術：1 件

人工骨頭置換術：23 件

大腿骨近位部骨接合術：42 件

四肢骨接合術：83 件

その他（アキレス腱断裂、腫瘍など）：28 件

## 2 業績

### （1）論文

- ・恒久性膝蓋骨脱臼を伴う高度外反膝に対して TKA を施行した一例

児玉 祥 ほか

中部日本整形外科災害外科学会誌 50 巻 6 号

- ・当科における橈骨遠位端骨折手術治療成績の検討

坂上 秀樹、堀田 恵司、児玉 祥、久保 敬

中部日本整形外科災害外科学会誌 51 巻 1 号

### （2）講演

- ・関節周囲異所性骨化による強直肘に対して授動術を施行した一例

児玉 祥 ほか

第 19 回日本肘関節学会学術集会

- ・恒久性膝蓋骨脱臼を伴う高度外反膝に対して TKA を施行した一例

児玉 祥 ほか

第 108 回中部日本整形外科災害外科学会

- ・大腿骨顆上骨折の治療成績の検討

児玉 祥、堀田 恵司、坂上 秀樹、久保 敬

第 108 回中部日本整形外科災害外科学会

- ・Die-punch fragment を伴う橈骨遠位端骨折の一例

児玉 祥、堀田 恵司、坂上 秀樹、久保 敬  
第 8 回愛媛骨折治療研究会

- ・当科における橈骨遠位端骨折手術治療成績の検討  
坂上 秀樹、堀田 恵司、児玉 祥、久保 敬  
第 109 回中部日本整形外科災害外科学会



# 脳神経外科

現在、医師 1 名での診療体制であり、学会発表・論文の投稿などは極めて困難な状態です。しかし、脳疾患患者様の治療という本来の役割を果たす努力は継続しています。八西地域の脳疾患治療の窓口、或いは中心として行った昨年度の診療実績（手術）を掲載いたします。

## <手術症例>

慢性硬膜下血腫 : 9 例（血腫穿孔洗浄術）

脳内出血 : 2 例（定位的血腫吸引術）

# 皮膚科

南予では、公的病院・診療所の数は少なくありませんが、皮膚科の常勤医がいる病院は極めて少数です。その上皮膚科専門医は都市部に集中する傾向があります。そのため郡部では早期受診、診断確定の機会を失い、病状が進んで来院される患者さんが少なくありません。当科ではこれらを踏まえ、いわゆる「西予」地区における、ただひとつの常設皮膚科のある病院としての役割を果たし、この地域の患者さんが専門的な診断や治療が受けられるようサポートを行っていきたいと考えております。

## 1 スタッフ

医師 松田光司 昭和 51 年 鹿児島大学医学部卒業  
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医  
医学博士

## 2 診療内容

### (1) 皮膚科診療について

皮膚科一般を対象とするが、難治性疾患や広範囲、複雑な部位の皮膚癌については、愛大皮膚科、形成外科と連携し対応しています。

### (2) 形成外来について

毎月第 4 水曜日の午後に、愛大形成外科医による診察と外来手術を行っています。完全予約制ですので、前もって一度皮膚科を受診し、予約を取ってください。また愛大医師の都合により日時が変更になる場合があります。

### (3) 褥瘡（とこずれ）について

急速に進む高齢化社会の中で、寝たきり状態の問題が最近クローズアップされてきております。八西地区は他の市町村に比べて高齢者の割合が多いため、長期臥床に伴って発生する褥瘡の患者さんの増加が当然予想される状況です。市立病院では、これに対応するため、平成 14 年春に褥瘡対策委員会を設置しました。医師、看護師、栄養士を中心としたスタッフが連携を取りながら、エアマットやクッションの選定、スキンケア、栄養管理、治療方針の決定など定期的に協議を行っております。各病棟に配属された、褥瘡のエキスパートナースが中心となり、入院時すでに褥瘡が出来ている患者さんだけでなく、褥瘡ができる可能性がある患者さんに対して、予防的対応を行っております。皮膚科もこのチーム医療の一員として、患者さんのアメニティの向上にお役に立ちたいと考えております。

# 泌尿器科

## 1 スタッフ

武田 肇 (たけだ はじめ)	副院長	前 愛媛大学医学部附属病院 講師 日本泌尿器科学会 専門医・指導医 日本透析医学会 専門医・指導医 日本泌尿器科学会 西日本評議員	医学博士
高橋 真司 (たかはし しんじ)	医長	前 愛媛労災病院泌尿器科 医師 日本泌尿器科学会 専門医	

施設認定:日本泌尿器科学会基幹教育施設・日本透析医学会教育関連施設

泌尿器科学会と透析医学会のダブルタイトルホルダーは南予では当院だけです。

(市立大洲病院は透析医学会のみ、市立宇和島病院は泌尿器科学会のみです。)

## 2 学術活動

### (1) 発表

- ・HAM (HTLV-1 関連脊髄症) による神経因性膀胱に膀胱腔瘻を合併した一例  
高橋 真司 ほか (第 80 回日本泌尿器科学会四国地方会 2007. 01. 27 徳島市)
- ・体重増加の抑制効果～うるおいスプレー試用による一考察～  
上本 美佐 ほか (第 18 回愛媛県人工透析研究会 2007. 08. 25 新居浜市)
- ・鎖肛術後で巨大結腸を有する成人に対する CAPD 導入の一例  
武田 肇 ほか (第 52 回日本透析医学会総会 2007. 06. 17 大阪市)
- ・DIC を合併した膿腎症の一例  
高橋 真司 ほか (第 59 回日本泌尿器科学会西日本総会 2007. 11. 10 松山市)

### (2) 論文

原著

- ・抗精神病薬使用患者に発症した横紋筋融解症 (悪性症候群を含む) による急性腎不全の検討 高橋真司 三浦徳宣 中野吉朗 武田肇  
(日本透析医学会雑誌 40(1):67-73, 2007)

### (3) 講演

- ・至適透析と APD  
武田 肇 (PD セミナー in 愛媛 2007. 04. 29 松山市)
- ・CKD の話し  
高橋 真司 (岬地区勉強会 2007 年? 月)

## 3 透析関連実績

血液透析患者 48 人 腹膜透析患者 16 人 (平成 20 年 4 月 1 日現在)

#### 4 平成 19 年手術統計

##### (1) 腎臓・尿管

根治的腎摘出術（腎癌）	1 件
根治的腎尿管全摘術（腎盂・尿管癌）	1 件
腎血管再建術	1 件
経皮的腎切石術	1 件
経尿道の尿管碎石術	2 件
尿管切石術	1 件
経皮的腎瘻造設術	5 件
腎盂尿管内視鏡手術	2 件
経皮的腎生検	3 件

##### (2) 膀胱

経尿道の膀胱腫瘍切除術（膀胱癌）	1 9 件
膀胱全摘出・回腸導管造設術（膀胱癌）	3 件
尿管皮膚瘻造設術（放射線性膀胱炎）	1 件
経尿道の膀胱碎石術（膀胱結石）	3 件

##### (3) 前立腺・尿道

根治的前立腺全摘術（前立腺癌）	4 件
恥骨後式前立腺摘除術（前立腺肥大症）	1 件
経尿道的前立腺切除術（前立腺肥大症）	2 3 件
前立腺温熱治療（前立腺肥大症）	2 件
経直腸的前立腺生検	3 0 件
経尿道の尿道形成術（尿道狭窄）	4 件
膀胱脱・尿失禁根治術（膀胱脱・尿失禁）	1 件

##### (4) 精巣・陰茎

陰茎切断術（陰茎癌）	1 件
精巣固定術（精索軸捻転・停留精巣）	1 件
精巣・精巣上体摘除術（精巣上体炎ほか）	2 件
陰囊・精索水腫根治術	2 件
包茎手術	2 件

##### (5) 透析関連

内シヤント造設術（人工血管をふくむ）	2 2 件
CAPD カテーテル留置術など	9 件
シヤント P T A	5 8 件

##### (6) その他

3 件

##### (7) 体外衝撃波結石破碎術（腎・尿管結石）

1 1 8 件

合計 3 2 6 件

# 産婦人科

産科標榜医療施設の減少が続いている現在、南予地区でもすでに分娩取り扱い病院が3病院のみとなり、結果、当院産婦人科でも比較的広い地域を担当するようになり、旧野村、城川さらには小田の住民の受診も見受けられるようになりました。現在、当産婦人科は常勤医2人、助産師8人体制を維持し、可能な限りこの地域内で診療がまかなえるよう努力を行っています。

## 【スタッフ紹介】

科長 山中 研二

愛媛大学医学部医学科 昭和62年卒業

母体保護法指定医

日本産科婦人科学会専門医

医長 山内 正大

愛媛大学医学部医学科 平成10年卒業

日本産科婦人科学会専門医

日本周産期・新生児医学会

日本産科婦人科内視鏡学会

## 【平成19年度症例数統計】

産科 総分娩数：141 双胎分娩：2（1例帝切） 帝王切開：39

婦人科手術症例 付属器切除術：3 単純子宮摘出術：5 子宮脱：5 頸管縫縮術：1

骨盤位経膈：1 その他25

# 眼科

当科は眼科一般疾患を対象として医師2名で診察に当たっています。EBM (evidence based medicine) に基づく適正な医療を行うことを心がけています。

## 1 内容

外来は月～金曜日の午前中に行っており、午後は月・水・金曜日は手術日、火・木曜日は予約検査、レーザー治療などを行っています。検査では蛍光眼底造影、眼底写真撮影、超音波検査、角膜形状解析、角膜内皮細胞検査、視野検査などに対応しています。レーザー治療についてはマルチカラーレーザー、YAG レーザー、SLT レーザーを備えており、糖尿病網膜症・網膜静脈閉塞症などの網膜疾患、緑内障、後発白内障などに対応しています。

## 2 手術実績

平成19年の手術件数は約380例で、内訳は白内障約336例、その他約44例でした。発生頻度の高い白内障の手術が中心ですが、翼状片、結膜弛緩症、眼瞼内反症などの外眼部の手術にも対応しています。白内障に関してはクリニカルパスを導入し、片眼3泊4日、両眼5泊6日の短期入院下で施行しています。日帰り手術に関しては、外来設備ならびに人員配置の面から行っておりませんが、当院での小切開・フォーダブル眼内レンズ挿入超音波白内障手術は、日帰り手術で行われている手術と同じ術式です。

### 過去の手術実績

平成4年	55件	12年	369件
5年	177件	13年	399件
6年	264件	14年	325件
7年	210件	15年	316件
8年	163件	16年	318件
9年	136件	17年	294件
10年	162件	18年	373件
11年	316件	19年	380件

# 耳鼻咽喉科

## 1 診療科の特徴

当科では手術治療が必要な方を含め、耳鼻咽喉科頭頸部領域を広く診療しています。中耳・鼻咽喉の難治性感染症、突発性難聴やメニエール病等の内耳疾患、顔面神経麻痺などを専門にしています。手術の主なものは、中耳、鼻副鼻腔、咽喉頭、頭頸部の炎症疾患および良性腫瘍、外傷等です。症例によっては日帰り手術やショートステイ手術も行っています。

また補聴器専門外来を設けています。

## 2 担当医師

佐々木 康

日本耳鼻咽喉科学会認定耳鼻咽喉科専門医

日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医

## 3 平成 19 年度の主な手術

鼓膜形成術	3 件
鼓室形成術	2 件
その他耳科手術	1 件
内視鏡下鼻内副鼻腔手術	7 件
鼻中隔矯正術	1 件
その他鼻科手術	4 件
扁桃摘出術	1 件
唾液腺手術	1 件
喉頭微細手術	5 件
気管切開	1 件
その他頭頸部手術	2 件

# 放射線科

当院で行う全ての CT、MRI、核医学検査の画像診断、心臓を除く全ての領域の血管造影診断を日常業務としています。さらに、低侵襲（患者さんに優しい）といわれている血管内手術（肝臓癌の塞栓術、外傷性出血の止血術、透析シャントトラブルに対する血管形成術など）を受け持っています。

ヘリカル CT、高磁場 MRI、核医学装置、血管造影装置を備え、常に新しい検査方法も導入しています。また、全身用骨塩定量装置や乳房撮影装置を備え、骨粗しょう症や乳がんの早期発見に力を入れています。CR 装置を用いて、X線検査の大部分はデジタル化しています。

平成 17 年 10 月に高磁場 MRI が最新機種に更新され、同時に CT、MRI はモニター診断もできるようになりました。

また、平成 18 年 7 月には血管造影装置が更新され、循環器専用と循環器以外の領域用の 2 台が当院に導入されています。

## 1 スタッフ

医師 2 名、診療放射線技師 6 名、看護師 4 名、事務 2 名  
(医師紹介)

山本 尚幸 副院長

愛媛大学医学部医学科 昭和 61 年卒業。医学博士。

専門分野：放射線診断一般、核医学診断、IVR(血管内手術)

取得専門医等：日本医学放射線学会専門医

検診マンモグラフィー読影認定医

日本医師会安全管理推進者

清水 輝彦 放射線科医長

愛媛大学医学部医学科 平成 5 年卒業。医学博士。

専門分野：放射線診断一般、IVR(血管内手術)

取得専門医：日本放射線学会専門医

検診マンモグラフィー読影認定医

## 2 業績

### (1) 講演

平成 19 年 7 月 八幡浜 愛媛県原子力防災職域研修

「緊急被ばく医療体制の概要」

山本尚幸



平成 19 年 7 月 札幌 北海道「緊急被ばく医療基礎講座 I」 汚染を伴った外傷患者の取り扱い	山本尚幸
平成 19 年 8 月 松山 緊急被ばく医療「愛媛フォーラム」 机上演習：想定事故の緊急被ばく医療	山本尚幸
平成 19 年 9 月 松山 愛媛県「緊急被ばく医療基礎講座 I」 汚染を伴った外傷患者の取り扱い	山本尚幸
平成 19 年 9 月 八幡浜 八幡浜医師会講演会 認知症の画像診断	山本尚幸
平成 19 年 11 月 鹿児島 鹿児島県「緊急被ばく医療基礎講座 I」 汚染を伴った外傷患者の取り扱い	山本尚幸
平成 20 年 1 月 松山 愛媛エネルギーを考える会講演会 放射線の基礎知識～体への影響や医療における有効利用～	山本尚幸

(2) 読影レポート作成枚数

	平成 19 年度
一般撮影	3,592
マンモグラフィー	209
上・下部消化管造影	1,334
CT	7,595
MRI	3,460
RI	304
血管造影	63
骨密度検査	489

(3) 検査施行件数

	平成 19 年度
上・下部消化管造影	1,064
血管造影(造影のみ)	5
Vascular IVR	58
Shunt PTA	53
TAE , TACE , PTR	3
Others	0
Nonvascular IVR	1

# 麻酔科

## 1 麻酔科の紹介

越智科長が赴任して3年目の年となりました。

### (1) 麻酔実績 (表)

平成19年の麻酔科管理の手術は305件で、うち281件が全身麻酔で、残りは脊椎麻酔、硬膜外麻酔などでした。診療科別の麻酔科管理症例数は外科171件、整形外科100件、泌尿器科19件、耳鼻咽喉科9件、産婦人科4件、眼科2件となっていました。

### (2) 教育研修

研修医2名の麻酔科・救急研修(18年10月～19年3月、1名3ヶ月)を受け入れ、また救急救命士の研修(就業前病院実習2名・のべ42日、再教育病院実習13名・のべ73日、気管挿管研修2名・のべ38回、薬剤投与研修3名など)を実施しました。

### (3) スタッフ

越智元郎

日本麻酔科学会指導医、日本救急医学会指導医、愛媛大学医学部麻酔・蘇生学 非常勤講師、愛媛大学医学部救急医学 非常勤講師

## 2 学会発表

- ・ボランティアによるCoSTRとERC、AHAの2005年版心肺蘇生法ガイドラインの翻訳作業について

越智元郎・他8名、第23回日本救急医学会中国四国地方会(5月26日、広島市)

- ・ヨーロッパ蘇生協議会(ERC)2005年ガイドライン(日本語版)のデジタル発信について  
越智元郎・他8名、日本蘇生学会第26回大会(10月5日、岡山市)

- ・教職員向けDVD教材「心肺蘇生法とAED」の制作について

越智元郎・他7名、日本蘇生学会第26回大会(10月6日、岡山市)

## 3 論文発表など

- ・越智元郎：新しくなった心肺蘇生法。健康教室 58巻11号、p.14-17、2007

\*日本蘇生学会・編：教職員のための心肺蘇生法の手引き、東京、東山書房、2007

\*日本蘇生学会・企画・監修：ビデオー教職員と保護者のための心肺蘇生法とAED、東京、東山書房、2007

(\*日本蘇生学会心肺蘇生法普及委員として編集、企画・監修を担当)

## 4 座長ほか

- ・一般演題座長：災害医療におけるITシステム、第13回日本集団災害医学会総会(2月11日、

つくば市)

- ・南予メディカルコントロール協議会 第3回合同症例検討会・助言者(9月14日、宇和島市)
- ・南予メディカルコントロール協議会 第4回合同症例検討会・助言者(3月6日、八幡浜市)

## 5 講演・講義

- ・応急処置：災害医学事始め、7月13日、愛媛大学医学部1年次講義
- ・プレホスピタルケア、災害医学、11月28日、愛媛大学医学部4年次講義

# 歯科口腔外科

歯科口腔外科外来では、口腔外科を主体とする歯科診療を提供しています。埋伏歯の抜歯、口腔内の腫瘍・嚢胞の摘出手術や白板症などの粘膜疾患、癌や骨髄炎、外傷など、広く顎口腔領域に見られる疾患についての診断と治療を行っています。また、舌痛症、口腔乾燥症、顎関節症などの口腔内科的疾患にも対応しています。さらに、心臓病や糖尿病、透析を受けられている方など、全身的な病気をお持ちの方や、体が不自由で一般歯科医院への通院が困難な方への一般歯科治療も行っています。

## 1 スタッフ

現在、以下の三人で週3回（月、水、金）診療に当たっています。

浜川 裕之 （金曜日午前 担当）

昭和52年 大阪大学歯学部卒業

日本口腔外科学会専門医・指導医

所属学会

日本口腔外科学会（評議員）、日本口腔科学会（理事・評議員）、日本口腔腫瘍学会（評議員）、日本口腔インプラント学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本頭頸部癌学会、日本口腔粘膜学会（評議員）、日本口腔組織培養学会（理事）、日本唾液腺学会、日本分子生物学会、American Association for Cancer Research、International Association of Oral and Maxillofacial Surgery、International Congress on Oral Cancer

中城 公一 （水曜日 担当）

平成5年 徳島大学歯学部卒業

日本口腔外科学会専門医

所属学会

日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本頭頸部癌学会、日本口腔腫瘍学会、日本口腔組織培養学会、American Association for Cancer Research、American Society of Clinical Oncology、Asian Association of Oral and Maxillofacial Surgery

住田 知樹 （月曜日 担当）

平成6年 大阪大学歯学部卒業

日本口腔外科学会専門医

所属学会

日本口腔外科学会、日本口腔科学会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本頭頸部癌学会、日本病理学会、日本口腔腫瘍学会、日本口腔組織培養学会、日本口腔診断学会、日本口腔インプラント学会、日本有病者歯科医療学会、日本顎顔面インプラント学会、American Association for Cancer Research、Asian Association of Oral and Maxillofacial Surgery

## 2 臨床成果

昨年度の外来患者症例の一部を以下に示します。(平成18年4月～平成19年2月末現在)

埋伏智歯	71例
正中過剰埋伏歯	4例
粘液嚢胞	3例
口腔良性腫瘍	3例
顎下腺唾石症	2例
顎骨骨折・口腔顔面外傷	9例
歯科インプラント周囲炎	2例
歯科インプラント治療	5例

全身麻酔下での手術が必要と診断した場合には、愛大附属病院へ転院して頂き、病院間の連携をもって治療に望んでいます。昨年度は、口腔悪性腫瘍4例、顎骨骨髓炎2例、上顎嚢胞1例が愛大附属病院で加療し、その後当院外来で経過観察中です。

# リハビリテーション科

昨年の診療報酬改定によるリハビリテーション体系の変化も落ち着きを取り戻して参りました。引き続き、急性期疾患を中心に地域と連携を図り、最適で良質なリハビリテーションが出来るように努力して参りますのでご協力の程よろしくお願い申し上げます。

尚、平成 19 年 4 月より言語聴覚療法は休止となり、平成 20 年 1 月より心臓リハビリテーションを開始致しました。

## 1 施設基準

- ・ 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
- ・ 運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・ 呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・ 心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅱ）（平成 20 年 1 月認可）

## 2 スタッフ

医師 1 名、理学療法士 5 名（平成 19 年 12 月までは 6 名）、作業療法士 1 名、看護助手 3 名、日本事務医療センター 1 名

## 3 平成 19 年度統計

項目	外来件数	入院件数
脳血管疾患等リハ料	730	13,287
運動器リハ料	3,091	16,054
呼吸器リハ料	0	840
心大血管疾患リハ料	0	45
算定不可	369	3,041
物理療法のみ	12,421	17
ADL 加算	—	13,038
総合評価料	—	395
退院時リハ指導料	—	755
筋電図	—	35

4 研修会等

カンファレンス	5 回／週	
参加委員会	9 委員会	
研修会	院内 15 回	院外 26 回
リハ科内	勉強会 7 回	症例報告会 6 回
発表	1 件	四国理学療法士学会
講師（研修会等）依頼	院内 5 回	院外 12 回
実習生	大学 2 名	専門学校 6 名
職場体験等	5 件	

# 臨床病理科

臨床病理科では採血、血液検査、生化学免疫検査、細菌検査、輸血検査、病理・細胞検査、生理検査等を18名のスタッフで行っています。病気の診断や治療に役立つよう、「正確で早く」をモットーに医師や看護師へ情報を提供しています。

他病院にさきがけ始めた早朝検査も6:30、7:00、8:30という3段階の時間差出勤で、なおかつ曜日によって人数を変えるという具合に進化し、病棟の検体検査については8:30までに検査が終了しているという画期的なシステムをとっています。そのために、検査に要する自動分析機も大型の物でなく、中型で小回りの利く経済的な物で対応出来るようになりました。また8:30から診察される外来患者様の検査も、よりスムーズに進めることが出来ます。遠方よりお越しの方々には、検査結果の説明を受けに何度も足を運ぶことのないよう、特殊な検査以外は当日での対応を心がけています。最近「臨床支援」ということがよく言われています。しかし、もともと臨床検査は診断や治療のためのものでありますから、そのためにあらゆるサービスを提供するのは当たり前のことであると思います。病院の質が問われる現在、スタッフにはそれぞれ目標を持たせ、レベルアップに努めるため積極的に認定免許を取得すべく日々勉強しております。そして新しい試みに常に前向きに取り組んでいけるアクティブな検査室を目指していきたいと思っています。

## 1 平成19年度統計

分類	件数
一般検査	161,787
血液検査	179,710
生化学検査	515,138
血清検査	5,975
病理検査	886
細胞検査	2,274
細菌検査	7,167
生理検査	19,272
合計	892,209

## 2 スタッフ

臨床検査技師 17名 准看護師 1名



### 3 認定免許

細胞検査士	1名
循環器超音波検査士	1名
消化器内視鏡技師	1名
二級臨床検査士血液	1名
二級臨床検査士循環生理	1名

### 4 活動内容

#### 実技講師

山村 展央 愛媛末梢インターベンションカンファレンス (EPIC)

#### 発表

山村 展央 第25回南予循環器画像研究会

「当院における血管エコーの現状と有用性について」

# 放射線室

放射線室では、主にX線を使った検査をしています。一般的にはレントゲンの名で親しまれています。

各装置、メーカーと保守契約を結び、定期的な点検を行い、朝7時過ぎに各装置を立ち上げて始業点検を行い、異常があればすぐに修理に駆けつけてもらえる様にして、日常の検査がスムーズに行えるよう努力しています。

MR I，CT検査においては、他院では数週間待ち等と聞きますが、当院では隙間ができたから、その隙間時間に当日検査を入れることで、当日、もしくは翌日には検査ができる様に努力しています、紹介検査も積極的に行い、地区の開業医の先生方との連携もとれるよう努力して、この地区の患者さんすべての放射線科になりたいと思います。

装置もMR I，血管造影装置は最新鋭のものを備え、平成20年度には最新の64列CT（1回転、約0.4秒で64枚撮影可能）も購入予定です。

## 平成19年度検査件数

一般撮影	:	23,519件
C T	:	7,354件
M R I	:	3,339件
血管造影	:	296件
透視検査	:	322件
骨密度測定	:	479件
乳房撮影	:	529件

平成19年度 診療放射線技師数：5名

有資格

放射線管理士（日本放射線技師会）

放射線機器管理士（日本放射線技師会）

マンモグラフィー認定技師（マンモグラフィー健診精度管理中央委員会）

# 薬局

薬局は、6名の薬剤師、1名の技術職員および2名の事務員で構成しています。

薬剤師の任務は、調剤をはじめ医薬品の供給、その他薬事衛生を司ることにより公衆衛生の向上および増進に寄与し、国民の健康な生活の確保に努めることにあります。

薬局の業務は、調剤、製剤、薬品補給、薬品管理、医薬品情報管理、薬剤管理指導などがあります。

調剤	処方箋により医薬品を調整して交付します。
製剤	市販されていないが、臨床の場で必要な医薬品を製造します。
薬品補給	病院内で主に注射剤を交付・供給します。
薬品管理	薬品の在庫管理、品質管理、麻薬等の法規制がある薬品の管理をします。
医薬品情報管理	医薬品情報の収集・整理・伝達を行います。また、病院内・外からの薬についての問い合わせに答えます。
薬剤管理指導	入院患者様へ薬の説明や相談、患者様の薬の履歴を調べて飲み合わせや重複のチェックを行います。

以前の薬剤師業務の大半は外来患者様への薬の調剤でした。院外処方箋発行により、薬剤師の業務は入院患者様を主体とした業務に変わってきました。薬剤師がベッドサイドで医療スタッフと共に患者様の薬学的ケアを行うことに力を入れています。処方箋のチェック、薬による副作用や薬同士、サプリメントとの相互作用のチェック、患者様に合わせて服薬し易いよう工夫することなど、薬剤師ならではの薬学的ケアが、医師によるケア、看護師によるケアと共に重要な業務となってきました。

平成19年度の薬局業務集計（総数）

処方箋枚数

外来処方箋	2,005 枚
入院処方箋	31,612 枚
薬剤管理指導業務	3,260 件

# 栄養療法科

## 1 スタッフ

管理栄養士 4名      事務員 2名      調理師 4名      調理員 15名

(計 25名)

## 2 栄養療法科基本理念

近年、日本人の平均寿命は著しく伸び、世界が目を見張るような長寿社会を達成しました。それは医学の進歩とライフスタイルの変化によるものです。それに伴って、生活習慣病と呼ばれる疾患が、次第に増加してきました。

病院給食は患者様の病状に応じて適切な食事を提供し、疾病の治癒促進を図るという重要な役割を担っており、日々患者様の健康回復に貢献できるよう努めています。

## 3 栄養管理

病院給食は、単に食事としての存在にとどまらず、治療の一環として重要な役割を担っています。「おいしく食べていただく事」と同時に、食べる事で身体の内面から健康になるようサポートします。栄養療法科では医師の指示のもと、それぞれの病態に応じて献立を作成し、調理する為に、専門の栄養士や経験を積んだ調理員達が日々努力を続けています。

## 4 衛生管理

病院における治療食の調理は、個人の栄養状態に適切に対応すること、おいしい料理を作る事と同時に、食品衛生上安全である事が不可欠です。特に、大量調理であるうえ、病原体に対して抵抗力の弱い方々が対象であることから、調理の際にはより一層厳重な衛生管理が求められます。栄養療法科においても、衛生管理マニュアルに則って、日々の業務においては清潔、迅速を心がけ、衛生管理の保持に努めています。

## 5 栄養指導

様々な病態をもつ患者様において、日常の食生活を適切なものに改善することの必要性が、ますます重要となってきました。これを日常生活の中で習慣化し、実践するための知識や方法を習得する事で、治療効果はより一層高まります。栄養指導においては、医師の指示のもと、それぞれの病態や理解度に応じて分かりやすくアドバイスしていきます。

入院患者様においては、入院中の栄養管理と同時に、退院後の家庭での食生活の管理についても習得していただく事が大切になります。また、外来の患者様では、食事内容の調査と検査値から、普段の食事の改善方法を確認し、指導していきます。家庭では、調理担当者が患者様以外の家族である事も多いので、一緒に栄養指導を行っています。

栄養学の進歩により、食品が身体に及ぼす様々な作用も明らかになってきました。それと同

時に、情報の多様化により、誤った食生活に陥ってしまう事も多々あります。そういった知識を正しい方向へ導き、栄養食事療法の基本をきちんと理解する事で、治療効果はより一層得られるのです。

## 6 栄養指導内容

### (1) 糖尿病教育入院

入院時栄養指導（個人・集団） 【 月 ～ 金 : 9:00～17:00 】

退院時栄養指導（個人・集団） 【 月 ～ 金 : 9:00～17:00 】

外来個人栄養指導 【 月 ～ 金 : 9:00～17:00 】

外来糖尿病教室（たまご・ひよこ・にわとり） 【各コース月1回：日程は下記参照】

※ひよこ・にわとりコースに関しては2ヶ月に1回

#### たまごコース日程表（初期教育）

日	時 間	担 当	時 間	担 当
1回目	13:30～	日常生活 看護師	14:15～	栄養療法 栄養士
2回目	13:30～	栄養療法 栄養士	14:15～	運動について 看護師
3回目	13:30～	栄養療法 栄養士	14:15～	薬について 看護師
4回目	11:30～	試食会 栄養士	12:30～	まとめ 医 師

#### ひよこコース日程表（マンネリ化してきた方）

日	時 間	担 当	時 間	担 当
1回目	13:30～	コントロールの為の指標 看護師	14:15～	食事療法① 栄養士
2回目	13:30～	食事療法② 栄養士	14:15～	治療薬と注意点 薬剤師
3回目	13:30～	食事療法③ 栄養士	14:15～	運動のポイント 理学療法士
4回目	11:30～	試食会 栄養士	12:30～	まとめ 医 師

#### にわとりコース日程表（ベテランの方）

日	時 間	担 当	時 間	担 当
1回目	13:30～	食事指導① 栄養士	14:15～	合併症と日常生活 看護師
2回目	13:30～	動脈硬化について 検査技師	14:15～	食事指導② 栄養士
3回目	13:30～	治 療 薬剤師	14:15～	栄養指導③ 栄養士
4回目	13:30～	まとめ 医 師	14:00～	間 食 栄養士

※各コースとも、少人数で完全予約制

（	平成19年度「年間外来栄養指導件数」	個人 837件	集団 151件
	平成19年度「年間病棟栄養指導件数」	個人 836件	集団 18件

## 【19年度活動内容（その他）】

### - 院内 -

- ・ 栄養管理（ベッドサイド訪問）
- ・ 褥瘡回診 【第1・第3水曜日】
  - ※ 褥瘡委員会 2ヶ月に1回あり
- ・ 褥瘡勉強会 【毎週水曜日】
- ・ 糖尿病カンファレンス 【4ヶ月に1回開催】
- ・ 八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会 【月1回 14:30～】
  - ※ 症例発表・司会等担当
- ・ ICTカンファレンス 【3ヶ月に1回開催】
  - ※ 各部所ラウンド月1回あり
- ・ 給食検討会 【年に1回開催】
- ・ 給食委員会
- ・ 院内感染対策勉強会 【月1回】
- ・ 安全管理委員会
- ・ 実習生受け入れ
- ・ 食材料の削減
- ・ 食事に関するアンケート調査
- ・ みどり会
  - ※ 教室開催
- ・ 糖尿病週間行事
  - ※ 商店街にて栄養指導実施

### - 院外 -

- ・ 平成19年度愛媛県栄養士 八幡浜支部総会及び研修会
- ・ 平成19年度愛媛県栄養指導者研修大会
- ・ 栄養士会総会
- ・ 指導者のための健康栄養セミナー
- ・ 保健指導者研修会

# 看護科

平成 19 年度看護科は「心は安心 技術は安全 笑顔で看護」の理念のもと、地域の皆様に安心と安全を提供できる看護を目指しスタートをした。今年度の目標は、①注射のマニュアルを守り実施することができる、②気持ちのよい挨拶ができる、③衛生材料・消耗品の使用方法を考え無駄をなくす、とし各部署で看護目標プランシートに沿って活動を展開した。医師不足、看護師不足等の要因が重なり、厳しい当院の現状ではあったが、「人を大切に」「人を育てる」ことを管理の基軸とし、掲げた看護理念を達成するために実施した活動を以下に報告する。

## 【スタッフ紹介】（平成 19 年 4 月 1 日現在）

助産師 9 名、看護師 174 名、准看護師 30 名、看護助手 46 名 合計 259 名  
病棟 7 単位・外来・中央手術室・医療情報管理室・地域医療連携室に配置

## 【業務実績】

### 1 行事・専門教室等の開催

行事名	開催日	参加者数
ふれあい看護体験	5 月 10 日	7 名
第 5 回ストーマ患者さまの集まり	10 月 27 日	18 名
糖尿病週間行事	11 月 8 日	96 名
糖尿病教室	毎月約 1 回	55 名
母親学級	第 1 水曜日	63 名
ストーマ外来	第 3 水曜日	43 名

### 2 実習・体験学習受け入れ

帝京第五高等学校実習			
学年	期間	実習内容	人数
看護科本科 2 年	4 週間	基礎実習	12 名
看護科本科 3 年	4 週間	成人看護実習	12 名
看護専攻科	14 週間	母性・小児実習	9 名

徳島県立看護学院看護学科（通信制）			
学年	期間	実習	人数
第 3 期生	2 日	基礎看護	8 名

第3期生	2日	成人・老年	8名
第3期生	2日	母性・小児	6名

中学生職場体験		
学校名	期 間	人 数
松栢中学校	1日	2名
八代中学校	3日	4名
双岩中学校	3日	1名
愛宕中学校	4日	2名

社団法人 愛媛県看護協会		
実習名	期 間	人 数
訪問看護研修	1日	5名

### 3 講師派遣

八幡浜市社会福祉協議会職員研修 「ヒヤリ・ハット・事故発生時の対応」	清水美智子
中学生の性教育講座（訪問看護研修10校）	原田恵美
マタニティ倶楽部	高橋砂智子
八幡浜市栄養学級	駿河陽子
帝京第五高等学校 母性看護学	泉佳代・菊池絹美

### 4 研修会等での発表

- ① 愛媛地域糖尿病指導士研修会  
「八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会の活動」 駿河陽子
- ② 八幡浜・大洲糖尿病チーム医療研修会  
「糖尿病足壊疽」 此上保美・石橋一美
- ③ 日本糖尿病学会中四国地方会第45回総会  
「外来での初期糖尿病教室における教育効果の検討」 川野理都子
- ④ 愛媛緩和ケア研究会第4回事例検討会  
「放射線障害により膀胱瘻をきたした一事例」 清家和子・原田恵美
- ⑤ 南予透析研究会  
「体重増加の抑制効果—うるおいスプレー試用による1考察—」

上本美佐



## 5 看護科委員会

### [業務委員会]

- 目 標 ①看護手順の作成、見直しをする  
②物品の在庫を整理を行い無駄をなくす

- 取り組み ①看護手順作成 29 項目完成  
②おむつの研修会を実施 47 名出席  
③絆創膏の整理をし、種類を限定  
④物品在庫整理  
⑤院内ラウンド

### [看護記録委員会]

年間目標 看護記録を充実させる

行動目標 記録の徹底ができる

- 取り組み ①年間目標プランシートを作成して評価事項について、毎月各委員が病棟の看護記録の状況进行评估した  
②看護記録についてラウンド表を用いて形式監査を6月から1月まで行い、ラウンド結果をうけて各病棟で対策、実施を行い評価して記録委員に提出した

### [褥瘡委員会]

目標 褥瘡ケア全般の徹底

- 取り組み ①研修会を2回開催し、延べ71名出席  
②褥瘡対策マニュアルの見直し  
③褥瘡処置調査で病院全体を把握

### [感染対策委員会]

目標 ①ICT活動を再確認し、感染対策業務に取り組む  
②標準予防策の遵守

- 取り組み ①月間目標を掲示  
②情報・知識を積極的に院内へ発信するために、ポスターの掲示、ニュースレターを発行  
③アンケート・実態調査を実施し、今後の改善対策の指標とする  
④院内、院外研修に参加するよう、働きかける  
⑤院内ラウンドの実施

### [安全管理担当者会]

目標 安全のための行動を考え、マニュアルを守ることができる

- 取り組み ①研修会を3回開催した  
②転倒転落の規約・看護計画の作成と見直し、周知徹底

- ③行動抑制の規約・看護計画・観察シートの作成、周知徹底
- ④注射マニュアルの修正
- ⑤内服忘れ防止のためフローシートに「内服」欄を設け管理
- ⑥インシデントレポートからの注意事項の徹底
- ⑦「安全」関係のファイルの整理

[教育委員会]

- 目的
- ①職場における学習を充実させ、専門職業人として看護の質の維持・向上を図る
  - ②職業人としての自己啓発と能力の拡大をはかるため、生涯学習を支援し看護に対応できる実践能力を養う
- 目標
- ①いきいきと看護に携われるように、学習の動機付けができ、自己啓発の意識を高める
  - ②専門領域の看護に必要な知識や技術を習得し、質の高い看護を実践する
  - ③看護の質を向上させるために必要な研究能力を養う
  - ④各自のキャリアアップを図ると共に、指導・管理能力を高める

平成 19 年度 院内教育計画

研修名		目 標	内 容
年間研修	安全	安全のための行動を考え、マニュアルを守ることができる	演習、ビデオ等を通じて安全に関する研修を3回行った。
	感染	標準予防策と手指衛生の徹底を図る	感染管理関係の研修を2回行った。
	全体研修	自己研鑽ができる	褥瘡・医療ガス・安全に関する研修を4回行った。
1年目	1年目	業務に必要な基礎知識、看護技術が習得できる	日々の業務で必須の看護・処置 医療器械・輸血等をピックアップした。演習をすることで少しでも理解できたと考える
	プリセプター	1. プリセプターが自分の役割を理解しプリセプティを円滑に受け入れることができる 2. 1年間の体験を通じ、自己の成長へとつなげることができる	プリセプターとしての目標を立案し、10月と2月に評価した知識・技術、組織で働くとはどういうことか指導した。プリセプティもしっかりと1年を振り返っての意見を述べプリセプター制の効果があった。
2年目		1. 組織における自己の立場を認識し、それぞれが持つ役割に責任を持ち、看護実践を行う 2. 自己の看護観を養う 3. 自己学習の仕方が解かり、努力することができる	自己の看護観を養うために「星野富広詩集」の抄読会をした。患者心理、人の考え方、人の見方等を話し合い感性を磨いた。ケースをとり、自分がした看護の振り返りをした。

3年目	看護研究の流れが理解でき、発表ができる	2年間の研修で1年目は研究テーマを立案した。
助手	助手：人間関係を円滑にし、安全・安楽な看護ケアを提供する クラーク：看護チームの中で自分の役割が自覚でき、実践できる	日常行っている入浴介助・オムツ交換をはじめ感染に対する知識の向上を図ることができた。
中堅研修	リーダーコース	チームリーダーが役割を理解できチームナーシングを再認識できる
	救急	救急処置が根拠を持つて的確にできる
		リーダー・メンバーの役割を話し合った。研修前には事前学習をしてグループワークを行い発表した。守秘義務・コミュニケーション・報連相等についてなぜ必要か、毎日の業務に追われ忘れかけていた大切な気持ちの振り返りができた。
		毎回講義と演習を行うことで知識と技術がより向上できるようにまた、臨床で役立ち実践できることに重点をおいた。

# 医療情報管理室

スタッフ紹介 医療情報管理室 室長 山本 尚幸 副院長  
地域医療連携室 室長 国吉 巖 副院長  
医療情報管理室 次長 田中 早苗

## 1 医療情報管理室業務

### (1) 地域医療連携室

地域医療連携室は、病院の窓口として地域の医療機関との連携を深め患者様が適切な医療を受けられるよう支援します。

業務内容

- ① 紹介患者様の診療予約
- ② 受診状況報告
- ③ MRIなどの放射線科による検査予約
- ④ 転院・退院（逆紹介）支援
- ⑤ 運用状況統計作成

### (2) 患者様相談窓口

入院及び外来患者様の療養に関する疑問や問題点、様々な日常生活上の問題、制度について相談を受けます。相談内容によっては、手続きや申請の支援、必要に応じた適切な部門や機関への連絡を行います。

- ① 外来相談窓口における受診相談及び相談業務
- ② 入院患者退院支援相談

### (3) 診療録管理

入院診療録を、整理保管かつ統計等を行なう中央機構としてその業務を行なっています。院内に診療録管理室委員会を設置し、診療情報管理士によりその業務を行っています。

- ① 入院診療録の回収、製本、点検、貸出等の管理
- ② 入院診療録の量的点検
- ③ 「退院時要約」の早期作成推進と管理
- ④ 診療情報の抽出と疾病分類（ICD-10）
- ⑤ 「診療録管理システム」への診療データ登録
- ⑥ 各種統計作成

## 2 業務実績

### (1) 地域医療連携室

#### ①紹介状況

ア FAX利用照会延べ利用件数 1,624件 平均件135/月

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
数	137	142	151	118	134	114	157	131	132	130	143	135	1,624

イ 紹介状持参件数 1,657件 平均138件/月

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
数	135	154	148	155	186	130	144	135	110	127	105	135	1,664

ウ FAX利用紹介患者及び紹介状持参件数 3,281件 平均273件/月

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
数	272	296	295	273	317	244	301	266	242	257	248	270	3,281

エ 診療科別紹介件数

内科	小児	外科	整形	脳外	婦人	眼科	耳鼻	泌尿	皮膚	放射	歯科	麻酔	救急
890	159	261	225	179	133	213	121	169	29	492	333	1	53

オ 医療機関別 FAX利用紹介件数 上位 10施設

永松内科	広瀬病院	宇都宮病院	加藤内科	なかの泌尿器科	五反田くじら	穴井診療所	串診療所	坪内整形外科	こくぶ内科
114	114	85	81	76	67	63	59	53	58

カ 医療機関別 紹介状持参件数 上位 10施設

市立大洲病院	笹田医院	土居内科	愛大病院	門田医院	県立中央病院	こくぶ内科	わとう医院	松山赤十字	宇都宮歯科
65	64	63	63	57	49	47	46	45	44

キ 地域別紹介状

	市内	伊方町	西予市	大洲市	県内	県外
FAX	1,197	99	93	215	46	0
持参	742	210	171	166	249	81

ク 紹介状に対する 回答状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回答率	87%	89%	90%	94%	85%	89%	90%	87%	88%	90%	83%	86%

② 逆紹介

ア 逆紹介件数 3,783件 平均315件/月

月数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	159	213	191	197	243	221	289	204	201	416	552	897	3,783

イ 診療科別 逆紹介件数

診療科	内科	小児	外科	整形	脳外	婦人	眼科	耳鼻	泌尿	皮膚	歯科	合計
件数	2,373	133	175	210	172	61	545	36	90	31	63	3,783

ウ 他医療機関 診療予約 479件 40件/月

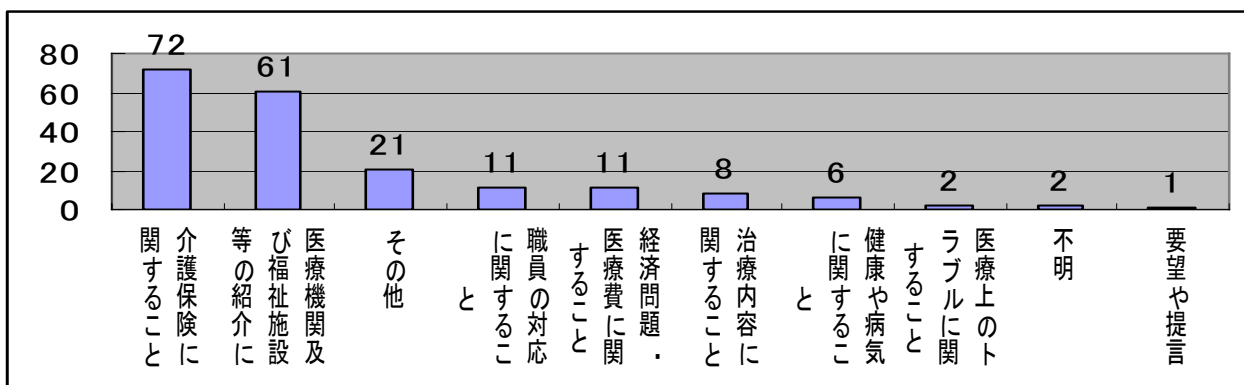
月数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	17	38	31	27	33	41	50	35	46	56	61	44	479

エ 医療機関別 診療予約状況 上位10施設

施設名	四国がんセンター	真網代くじら病院	県立中央病院	松山赤十字病院	愛媛大学病院	宇都宮病院	国立愛媛病院	市立大洲病院	市立宇和島病院	三瓶病院
件数	100	75	68	48	46	37	21	18	13	9

(2) 患者様相談窓口件数

- ① 総相談件数 170件
- ② 二次対応に至った件数 6件
- ③ 相談内容



※その他の21件は、フィブリノゲン製剤等血液凝固因子製剤使用に関する相談

④ 相談結果

納得した	59%
おおむね納得した	29%
あまり納得していない	10%
納得していない	2%

(3) 診療録管理

① 診療録管理状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収率	79.0	80.2	84.6	81.2	73.5	72.7	78.7	81.7	72.3	82.1	76.9	79.2	78.4
受理冊数	304	370	265	309	323	314	340	310	291	375	300	287	3,788
棚入件数	250	317	461	298	367	277	388	313	280	380	315	279	3,925
貸出件数	258	257	289	235	325	208	293	244	220	254	248	281	3,112

# 医事係

医事係は主に受付業務・医療費の計算業務・診療報酬請求業務を職員3人、日本医療事務センター職員32人で行っています。平成17年5月より医事会計システム、自動再来機受付システム、外来カルテ管理システム、処方オーダーリングシステムを導入し、患者さまの待ち時間短縮等サービスの向上に努めています。

## 1 平成19年度在院患者数

年月	内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	婦人科	産科	眼科	耳鼻科	泌尿器科	皮膚科	麻酔科	合計
4月	3,547	170	1,027	2,106	920	117	123	92	42	224	56	5	8,429
5月	3,856	176	936	2,017	958	120	91	93	21	201	59	31	8,559
6月	3,303	228	991	1,828	753	88	69	81	10	239	32	30	7,652
7月	3,511	119	1,110	1,809	793	108	100	100	50	261	37	8	8,006
8月	3,447	146	1,382	1,757	784	31	150	66	14	195	82	0	8,054
9月	3,232	162	1,474	1,774	579	81	159	55	20	295	67	1	7,899
10月	3,043	180	1,304	1,874	557	88	158	97	30	247	98	0	7,676
11月	2,845	139	1,505	1,862	454	96	163	99	28	204	24	0	7,419
12月	3,243	204	1,345	1,788	415	87	223	45	17	291	15	0	7,673
1月	3,295	170	1,365	1,740	412	34	154	48	19	280	42	0	7,559
2月	2,947	177	1,361	1,840	411	72	165	49	37	276	21	0	7,356
3月	2,899	164	1,481	1,768	370	95	101	13	80	213	20	0	7,204
計	39,168	2,035	15,281	22,163	7,406	1,017	1,656	838	368	2,926	553	75	93,486

## 2 平成19年度入院患者数

年月	内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	婦人科	産科	眼科	耳鼻科	泌尿器科	皮膚科	麻酔科	合計
4月	121	35	46	38	12	12	11	25	5	9	6	1	321
5月	131	36	35	38	11	3	7	25	3	13	6	0	308
6月	104	45	49	35	7	9	8	24	2	17	5	0	305
7月	128	21	61	36	12	5	15	33	8	21	1	0	341



8月	126	31	70	47	10	3	16	19	2	16	9	0	349
9月	105	25	47	35	10	9	17	24	2	19	5	1	299
10月	111	34	44	38	18	8	16	24	4	15	9	0	321
11月	115	32	53	39	15	6	16	30	5	9	2	0	322
12月	121	42	62	26	12	6	21	11	2	17	2	0	322
1月	144	34	48	40	17	5	18	16	4	20	5	0	351
2月	116	37	46	32	10	11	13	15	6	11	2	0	299
3月	103	29	49	31	4	11	10	3	14	6	4	0	264
計	1,425	401	610	435	138	88	168	249	57	173	56	2	3,802

### 3 平成 19 年度退院患者数

年月	内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	婦人科	産科	眼科	耳鼻科	泌尿器科	皮膚科	麻酔科	合計
4月	133	37	35	40	14	10	10	26	7	9	8	0	329
5月	144	37	45	37	14	5	7	22	2	15	6	0	334
6月	106	42	44	38	11	8	9	26	2	17	2	0	305
7月	116	25	46	48	13	7	11	28	6	19	5	1	325
8月	122	27	57	33	16	3	19	25	4	18	8	0	332
9月	128	30	60	36	16	8	15	18	1	18	2	1	333
10月	107	32	45	42	17	6	18	24	6	17	10	0	324
11月	104	30	59	34	19	6	15	34	3	12	6	0	322
12月	122	39	62	46	13	9	21	12	4	16	2	0	346
1月	134	36	45	25	14	4	15	13	3	20	4	0	313
2月	99	34	49	37	10	10	19	18	7	13	3	0	299
3月	122	35	45	32	12	12	10	3	8	13	1	0	293
計	1,437	404	592	448	169	88	169	249	53	187	57	2	3,855

4 平成 19 年度外来患者数

年月	内科	小児科	外科	整形外科	脳外科	産婦	眼科	耳鼻科	泌尿器科	皮膚科	歯科	ドック等	合計
4月	3,143	872	592	2,508	719	427	1,294	647	1,117	754	182	330	12,585
5月	3,355	1,068	678	2,584	755	464	1,362	776	1,202	887	162	279	13,572
6月	3,365	959	663	2,541	661	463	1,377	718	1,143	917	193	298	13,298
7月	3,271	888	699	2,445	776	488	1,435	645	1,204	948	177	222	13,198
8月	3,154	855	700	2,677	761	542	1,470	752	1,161	1,002	189	229	13,492
9月	2,779	631	586	2,312	618	437	1,227	462	1,130	786	141	192	11,301
10月	3,474	865	655	2,721	784	465	1,551	719	1,265	861	192	427	13,979
11月	3,097	977	645	2,514	692	441	1,329	623	1,110	708	163	836	13,135
12月	3,160	1,218	673	2,306	654	421	1,241	624	1,098	710	160	328	12,593
1月	3,058	1,148	543	2,275	700	437	1,098	625	1,122	718	149	239	12,112
2月	2,741	1,021	624	2,226	629	370	1,136	645	1,010	670	173	189	11,434
3月	2,838	912	627	2,293	729	354	947	649	1,055	702	209	86	11,401
計	37,435	11,414	7,685	29,402	8,478	5,309	15,467	7,885	13,617	9,663	2,090	3,655	152,100

# 市立八幡浜総合病院の行事等

## 1 イベント

開催日	内容	出演者	参加者
平成 19 年 12 月 19 日	クリスマスキャロル	幼稚園児、父兄、職員	80 人

## 2 訓練等

開催日	内容
平成 19 年 5 月 17 日	消防訓練
平成 19 年 10 月 21 日	災害医療訓練
平成 19 年 11 月 6 日	原子力防災訓練
平成 19 年 11 月 22 日	消防訓練（避難訓練）